正常分娩の経過

分娩の前兆

頸管の熟化

・不規則な陣痛(前駆陣痛)、産徴(おしるし)などがみられるようになる。
・子宮口の開大と頸管の熟化が始まり分娩に適した状態に近づく。

分娩第1期(開口期)

分娩の開始

・やがて、陣痛が規則的になり、1時間に6回以上又は10分間隔の陣痛になる。

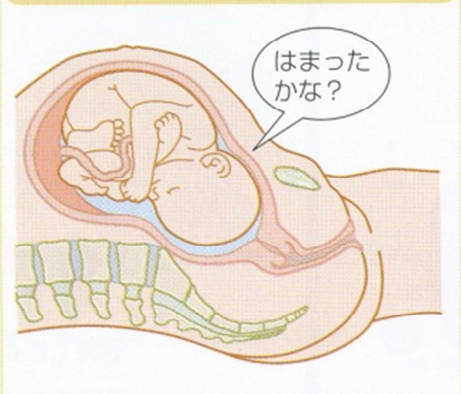
子宮口の開大

・子宮口が開大し始める。
・陣痛の間隔が短くなり痛みも強くなってくる。

母体の状態

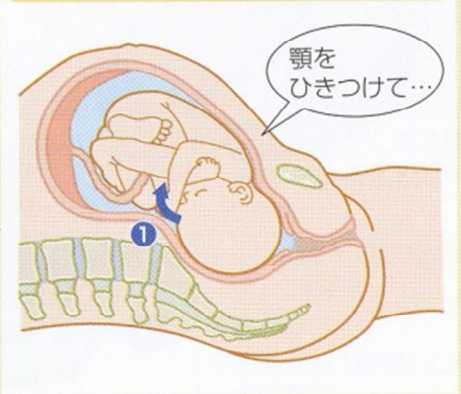
胎児・胎盤の状態(第1前方後頭位)

固定



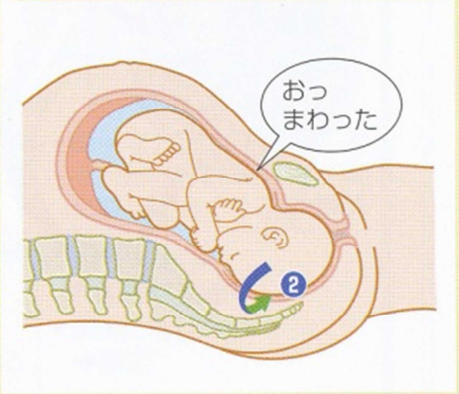
● 胎児は徐々に産道を下降して，児頭が骨盤入口部に固定される.

第1回旋・嵌入



● 第1回旋をして児頭が骨盤入口部に嵌入する

第2回旋



● 第2回旋が起こる.
● 児背が母体の前方を向く

分娩第２期（娩出期）

子宮口全開大・破水

・陣痛の間隔がさらに短くなり、痛みも強くなる。
・子宮口が全開大し破水が起こる。
・児頭の下降が進む。

胎児の娩出

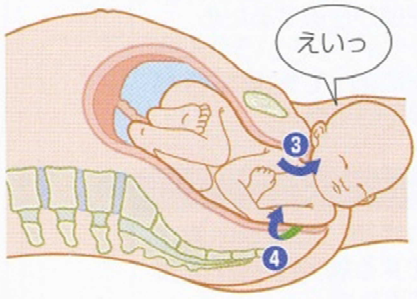
・胎児娩出後、陣痛が消える。

分娩第３期（後産期）

胎盤の娩出

・後陣痛が起こって胎盤が娩出し分娩が終了する。
・子宮の復古が始まる。

排臨・発露／第３・第４回旋

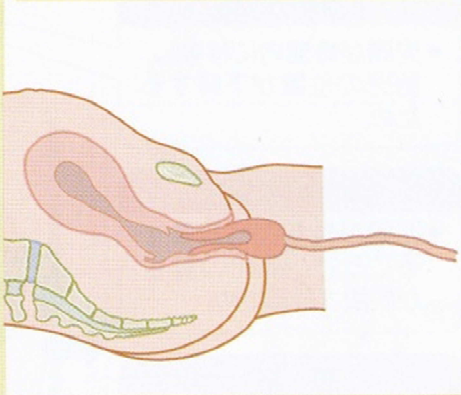


- 児頭が胎外に現れ始める（排臨・発露）
- 第３・第４回旋が起こる

胎児の娩出

- 児が娩出される.

胎盤の娩出



- 胎盤が娩出される